

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2027年7月20日まで（2020年11月20日設定）	
運用方針	<p>モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国のプレミアム企業の株式に投資を行います。なお、当ファンドにおいて、プレミアム企業とは、高いブランド力、有力な特許、強固な販売網など、競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される企業を指します。</p> <p>設定日から2022年6月までは、原則として、株式部分（マザーファンド受益証券をいいます。以下同じ。）への投資からドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行います。なお、株式部分以外は、原則として、残存期間が1年以内の日本国債や短期金融資産に投資します。2022年7月以降は株式部分を高位に組入れることを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券および日本国債を主要投資対象とします。
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合は、制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

## 運用報告書（全体版）

# ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし） 2020-11（限定追加型）

第4期（決算日：2024年2月26日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）」は、去る2月26日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

- ◆当期間の運用で主眼を置いたポイント
- ・当期間の運用は、AI関連の成長期待で一部の企業（マグニフィセント7と呼ばれる7つの企業）が上昇相場を牽引しましたが、当ファンドでは「マグニフィセント7」のうちマイクロソフトのみを保有していたため、他の6企業を保有しない事が主な要因となって、先進国株式市場に対してパフォーマンスの悪化要因となりました。また2023年11月以降は米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ停止と2024年の利下げが織り込まれ始めて、成長株・景気循環株の株価が上昇したため、ディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）性の強い当ファンドにとっては逆風となりました。
- ・主な投資行動としては、5銘柄の新規組入と1銘柄の全売却を行いました。新規組入は、米国のヘルスケア企業大手であるユナイテッドヘルス・グループなどを新規に組み入れました。一方で、医療製品などを手がけるバクスターインターナショナルを全売却しました。
- ◆今後の見通し
- ・現在の米国経済は堅調ではあるものの、FRBによる米国政策金利引き上げによる影響はこれから現れると考えています。一部のエコノミ

トが米国経済の景気後退を見込んでいることなどを踏まえると、景気減速局面やインフレ率の鈍化の環境となる可能性も考えられます。しかしそうした環境下では、景気減速局面でも売上を維持できる当ファンドの保有銘柄が持つ価格決定力と継続的な売上が再評価されるものと考えています。

- ◆運用方針
- ・引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド  
インターナショナル・エクイティ運用チーム  
運用責任者  
ウィリアム・ロック



ファンド・マネジャー  
ブルーン・ポールソン

上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
		税金	込み	期中騰落					
	円	円	円	%	%	%	%	%	百万円
(設定日) 2020年11月20日	10,000		—	—	—	—	—	—	8,763
1期(2021年2月24日)	10,013		0	0.1	15.0	—	50.4	—	12,235
2期(2022年2月24日)	10,467		0	4.5	75.5	—	—	—	10,948
3期(2023年2月24日)	11,226		0	7.3	97.5	—	—	—	9,159
4期(2024年2月26日)	15,017		0	33.8	97.8	—	—	—	9,485

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率				
(期 首) 2023年2月24日	11,226	—	97.5	—	—	—
2月末	11,278	0.5	96.5	—	—	—
3月末	11,489	2.3	97.7	—	—	—
4月末	11,936	6.3	97.5	—	—	—
5月末	12,120	8.0	97.5	—	—	—
6月末	13,044	16.2	97.3	—	—	—
7月末	13,040	16.2	97.0	—	—	—
8月末	13,456	19.9	97.4	—	—	—
9月末	12,915	15.0	97.2	—	—	—
10月末	12,557	11.9	97.5	—	—	—
11月末	13,420	19.5	97.0	—	—	—
12月末	13,380	19.2	97.4	—	—	—
2024年1月末	14,355	27.9	97.6	—	—	—
(期 末) 2024年2月26日	15,017	33.8	97.8	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

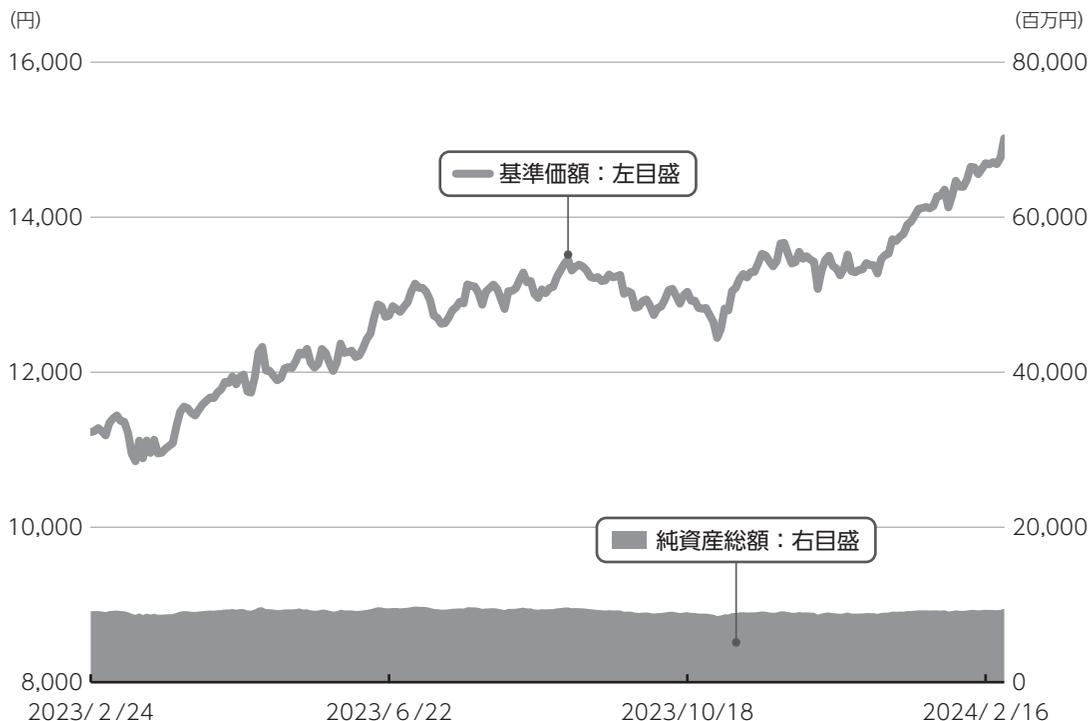
(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第4期：2023年2月25日～2024年2月26日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第4期首	11,226円
第4期末	15,017円
既払分配金	0円
騰落率	33.8%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ33.8%の上昇となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 上昇要因

米連邦準備制度理事会（F R B）による2024年以降の利下げ観測が強まったことなどから先進国株式市場が上昇したことや、マイクロソフトやS A Pの株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

第4期：2023年2月25日～2024年2月26日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

**先進国株式市場は上昇しました。**

米連邦準備制度理事会（F R B）による積極的な利上げサイクルが終了に近付いているとの見方が高まったことや、2024年以降の利下げ観測が強まったこと、米国の底堅い経済指標などを背景に上昇しました。

セクター別では、情報技術やコミュニケーション・サービスなどが上昇しました。

### ▶ 為替市況

**米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。**

米国の長期金利上昇により日本との金利差が拡大したことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。ユーロは、欧州中央銀行（E C B）の早期利下げ観測の高まりを背景に投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、対円で上昇しました。英ポンドは対円で上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ **ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）**

株式部分については、設定日から2022年6月までドルコスト平均法の投資効果を得ることを目指した時間分散投資を行い、その後は高位に組入れることを基本とします。

実質組入外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

### ▶ **モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド**

高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。

銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

#### **主な新規組入銘柄**

ユナイテッドヘルス・グループ：米国のヘルスケア企業大手であり、製薬会社や病院に対する価格決定力などがあると考え、新規購入しました。

#### **全売却銘柄**

バクスターインターナショナル：2023年1月に発表された一部事業のスピンオフ計画を受け、今後の業績を懸念して全部売却しました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期
	2023年2月25日～2024年2月26日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	5,017

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

### ▶ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式（為替ヘッジなし）2020-11（限定追加型）

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド  
受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。

実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

### ▶モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

2023年2月25日～2024年2月26日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	234	1.825	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(135)	(1.051)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(92)	(0.719)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(7)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.004	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(1)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	1	0.010	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.010)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	238	1.855	

期中の平均基準価額は、12,839円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

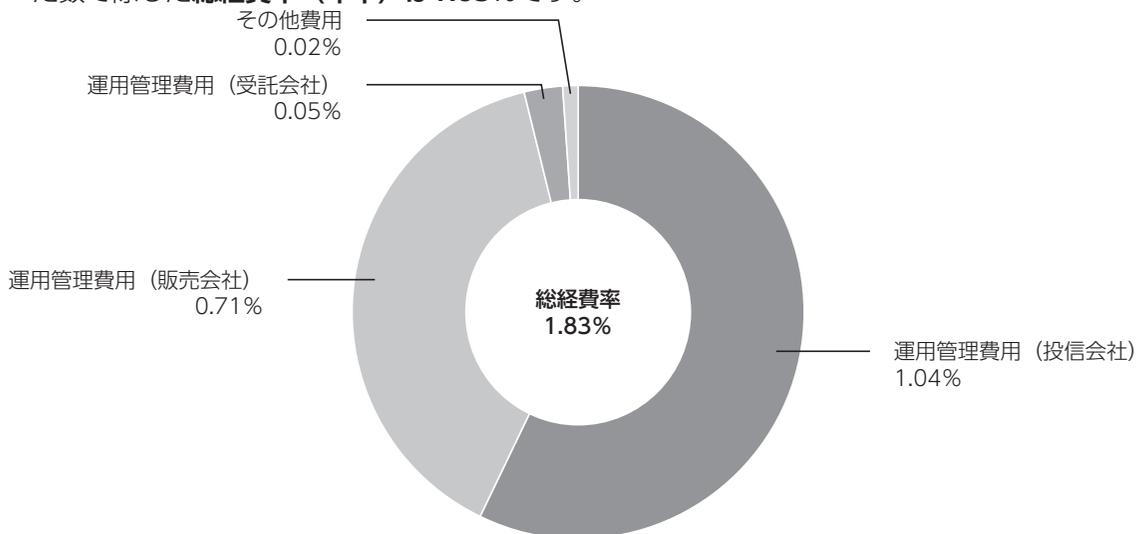
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年2月25日～2024年2月26日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 418,190	千円 2,505,643

## ○株式売買比率

(2023年2月25日～2024年2月26日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	170,175,677千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	389,036,141千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.43	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年2月25日～2024年2月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 1,751,563	千口 1,333,372	千円 9,462,677

## ○投資信託財産の構成

(2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	9,462,677	98.7
コール・ローン等、その他	128,040	1.3
投資信託財産総額	9,590,717	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（490,526,138千円）の投資信託財産総額（490,804,835千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=150.36円	1 ユーロ=162.67円	1 イギリスポンド=190.40円	1 スイスフラン=170.57円
1 スウェーデンクローネ=14.56円			

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年2月26日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,590,717,531
コール・ローン等	128,040,084
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(信託)	9,462,677,447
(B) 負債	105,653,876
未払解約金	21,422,549
未払信託報酬	84,073,425
未払利息	7
その他未払費用	157,895
(C) 純資産総額(A - B)	9,485,063,655
元本	6,316,122,377
次期繰越損益金	3,168,941,278
(D) 受益権総口数	6,316,122,377口
1万口当たり基準価額(C/D)	15.017円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 8,159,100,837円  
 期中追加設定元本額 0円  
 期中一部解約元本額 1,842,978,460円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.5017円です。

## ○損益の状況（2023年2月25日～2024年2月26日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 25,854
支払利息	△ 25,854
(B) 有価証券売買損益	2,562,707,378
売買益	2,850,750,353
売買損	△ 288,042,975
(C) 信託報酬等	△ 168,345,057
(D) 当期損益金(A + B + C)	2,394,336,467
(E) 前期繰越損益金	774,539,902
(F) 追加信託差損益金	64,909
(配当等相当額)	( 96,038)
(売買損益相当額)	(△ 31,129)
(G) 計(D + E + F)	3,168,941,278
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G + H)	3,168,941,278
追加信託差損益金	64,909
(配当等相当額)	( 96,038)
(売買損益相当額)	(△ 31,129)
分配準備積立金	3,168,876,369

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ②分配金の計算過程

項 目	2023年2月25日～ 2024年2月26日
費用控除後の配当等収益額	125,218,434円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,269,118,033円
収益調整金額	96,038円
分配準備積立金額	774,539,902円
当ファンドの分配対象収益額	3,168,972,407円
1万口当たり収益分配対象額	5,017円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
- |                    |         |
|--------------------|---------|
| 20億円以下の部分に対して      | 年1万分の80 |
| 20億円超40億円以下の部分に対して | 年1万分の75 |
| 40億円超80億円以下の部分に対して | 年1万分の70 |
| 80億円超の部分に対して       | 年1万分の65 |

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

# モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

## 《第24期》決算日2024年2月26日

[計算期間：2023年8月24日～2024年2月26日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、  
2月26日に第24期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第24期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</li> </ul>
主要運用対象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合は、制限を設けません。</li> <li>・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。</li> </ul>

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率	期騰落率	期中騰落率			
20期(2022年2月24日)	円	%	円	%		%	%	%	百万円
	47,149	1.6	114.95	4.6	27,470	△ 5.0	97.8	—	239,602
21期(2022年8月23日)	54,250	15.1	137.30	19.4	26,082	△ 5.0	97.9	—	312,686
22期(2023年2月24日)	52,027	△ 4.1	134.19	△ 2.3	26,282	0.8	98.0	—	328,138
23期(2023年8月23日)	60,910	17.1	145.72	8.6	28,203	7.3	97.5	—	402,858
24期(2024年2月26日)	70,968	16.5	150.36	3.2	32,533	15.4	98.1	—	490,493

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)(出所: MSCI)の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJアセットマネジメントが指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率-売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		( 参 考 指 数 ) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2023年8月23日	60,910	—	145.72	—	28,203	—	97.5	—
8月末	62,982	3.4	146.20	0.3	29,011	2.9	97.9	—
9月末	60,529	△ 0.6	149.58	2.6	27,739	△ 1.6	97.7	—
10月末	58,938	△ 3.2	149.51	2.6	26,801	△ 5.0	97.8	—
11月末	63,102	3.6	147.07	0.9	29,334	4.0	97.5	—
12月末	63,013	3.5	141.83	△2.7	30,964	9.8	97.7	—
2024年1月末	67,734	11.2	147.55	1.3	31,555	11.9	98.0	—
(期 末) 2024年2月26日	70,968	16.5	150.36	3.2	32,533	15.4	98.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

#### ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ16.5%の上昇となりました。

#### 基準価額等の推移



### ●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米連邦準備制度理事会 (FRB) による2024年以降の利下げ観測が強まったことなどから先進国株式市場が上昇したことや、MICROSOFT CORP (米国) やSAP SE (ドイツ) の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

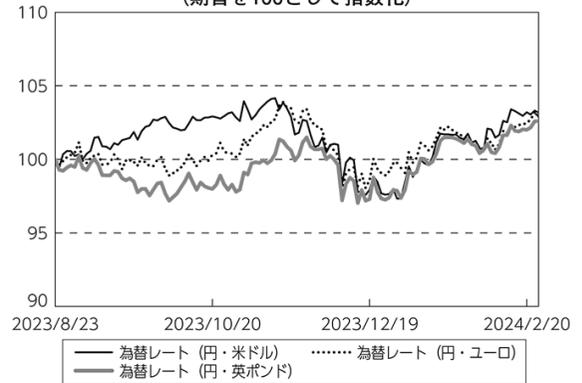
参考指数の推移  
(期首を100として指数化)



◎株式市況

- ・先進国株式市場は上昇しました。
- ・FRBによる2024年以降の利下げ観測が強まったことや米国の底堅い経済指標などを背景に上昇しました。
- ・セクター別では、情報技術やコミュニケーション・サービスなどが上昇しました。

為替市況の推移  
(期首を100として指数化)



◎為替市況

- ・米ドル、ユーロ、英ポンドは対円で上昇しました。
- ・米国の長期金利上昇により日本との金利差が拡大したことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。ユーロは、欧州中央銀行（ECB）の早期利下げ観測の高まりを背景に投資家のリスクセンチメントが改善したことなどから、対円で上昇しました。英ポンドは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・ UNITEDHEALTH GROUP INC (米国) : 米国のヘルスケア企業大手であり、製薬会社や病院に対する価格決定力などがあると考え、新規購入しました。

○今後の運用方針

- ・ 引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させ

ることが期待される「プレミアム企業」への投資を継続します。無形資産は価格決定力や反復的な売上をもたらし、景気減速局面でも売上を維持できると考えています。保有企業は利益の回復力が強く、またバリュエーションは株式市場対比で妥当な水準にあり、不確実性が高まる時期に、相対的に安全で耐性のあるプレミアム企業に投資するのは合理的であると運用チームでは考えています。

○1万口当たりの費用明細

(2023年8月24日～2024年2月26日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 1 (1)	% 0.002 (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	3 (3)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 )	4 (4)	0.006 (0.006)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	8	0.012	
期中の平均基準価額は、63,350円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月24日～2024年2月26日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 15,888 (1,751)	千アメリカドル 288,783 ( )	百株 9,812	千アメリカドル 171,222
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
国	ドイツ	685	8,706	705	11,319
	フランス	869	19,088	226	13,557
	オランダ	9,499	25,734	286	1,169
	イギリス	334	1,081	269	917
	イギリス	4,818	千イギリスポンド 17,115	4,154	千イギリスポンド 19,699

(注) 金額は受渡代金。

(注) ( )内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○株式売買比率

(2023年8月24日～2024年2月26日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	87,742,191千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	423,228,210千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.20

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年8月24日～2024年2月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年2月26日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株数	株数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	8,893	9,378	112,035	16,845,702		ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	2,918	3,403	87,083	13,093,846		商業・専門サービス
ACCENTURE PLC-CL A	5,110	5,211	196,650	29,568,370		ソフトウェア・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	4,064	4,536	111,682	16,792,613		ヘルスケア機器・サービス
COCA-COLA CO/THE	9,731	15,245	93,305	14,029,371		食品・飲料・タバコ
DANAHER CORP	5,059	3,329	84,521	12,708,631		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
EQUIFAX INC	2,479	2,616	69,596	10,464,463		商業・専門サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	361	381	17,684	2,659,060		金融サービス
MOODY'S CORP	1,113	1,173	45,258	6,805,066		金融サービス
PROCTER & GAMBLE CO/THE	4,884	5,151	82,949	12,472,231		家庭用品・パーソナル用品
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,433	1,511	84,167	12,655,434		ソフトウェア・サービス
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,469	1,975	111,541	16,771,382		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
UNITEDHEALTH GROUP INC	—	1,516	79,938	12,019,559		ヘルスケア機器・サービス
NIKE INC -CL B	2,147	1,750	18,487	2,779,759		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	6,160	6,494	266,478	40,067,767		ソフトウェア・サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	9,630	10,155	140,530	21,130,133		金融サービス
BROADRIDGE FINANCIAL SOLUTIONS	2,148	2,272	45,780	6,883,501		商業・専門サービス
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	18,709	15,091	138,181	20,777,043		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	6,327	6,673	189,247	28,455,326		金融サービス
ZOETIS INC	1,536	1,619	31,947	4,803,615		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JACK HENRY & ASSOCIATES INC	878	926	16,298	2,450,604		金融サービス
ARTHUR J GALLAGHER & CO	2,372	2,502	61,304	9,217,691		保険
CDW CORP/DE	2,621	2,764	68,310	10,271,180		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
STERIS PLC	1,748	1,844	43,498	6,540,473		ヘルスケア機器・サービス
AON PLC-CLASS A	2,193	3,219	101,503	15,262,098		保険
OTIS WORLDWIDE CORP	5,510	5,811	54,347	8,171,656		資本財
VERALTO CORP	—	1,777	15,416	2,317,975		商業・専門サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	110,505 25	118,334 27	2,367,747 —	356,014,563 <72.6%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	11,363	11,342	192,601	31,330,418		ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	11,363 1	11,342 1	192,601 —	31,330,418 <6.4%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	672	555	47,183	7,675,413		耐久消費財・アパレル
L'OREAL	1,232	1,299	58,502	9,516,616		家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	3,671	4,364	68,936	11,213,821		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,575 3	6,218 3	174,622 —	28,405,850 <5.8%>	
(ユーロ…オランダ)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	8,078	8,515	8,319	1,353,377		食品・飲料・タバコ
HEINEKEN NV	7,609	8,024	71,515	11,633,397		食品・飲料・タバコ
UNIVERSAL MUSIC GROUP NV	—	8,361	22,524	3,664,105		メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,688 2	24,901 3	102,359 —	16,650,880 <3.4%>	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イギリス) RELX PLC	百株 5,719	百株 5,784	千ユーロ 23,694	千円 3,854,330	商業・専門サービス
小計	株数・金額 5,719	株数・金額 5,784	23,694	3,854,330	
	銘柄数<比率>	1	1	<0.8%>	
ユーロ計	株数・金額 38,346	株数・金額 48,247	493,277	80,241,480	
	銘柄数<比率>	7	8	<16.4%>	
(イギリス) RELX PLC RECKITT BENCKISER GROUP PLC EXPERIAN PLC	21,993 20,812 11,151	22,204 19,205 13,212	千イギリスポンド 77,716 111,813 45,343	14,797,158 21,289,255 8,633,451	商業・専門サービス 家庭用品・パーソナル用品 商業・専門サービス
小計	株数・金額 53,957	株数・金額 54,621	234,873	44,719,864	
	銘柄数<比率>	3	3	<9.1%>	
合計	株数・金額 202,810	株数・金額 221,203	—	480,975,909	
	銘柄数<比率>	35	38	<98.1%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

## ○投資信託財産の構成

(2024年2月26日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円 480,975,909	% 98.0
コール・ローン等、その他	9,828,926	2.0
投資信託財産総額	490,804,835	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(490,526,138千円)の投資信託財産総額(490,804,835千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=150.36円	1 ユーロ=162.67円	1 イギリスポンド=190.40円	1 スイスフラン=170.57円
1 スウェーデンクローネ=14.56円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年2月26日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	490,852,852,486
コール・ローン等	4,024,974,654
株式(評価額)	480,975,909,184
未収入金	5,639,855,638
未収配当金	212,113,010
(B) 負債	359,234,683
未払金	48,069,037
未払解約金	311,165,631
未払利息	15
(C) 純資産総額(A-B)	490,493,617,803
元本	69,114,539,778
次期繰越損益金	421,379,078,025
(D) 受益権総口数	69,114,539,778口
1万口当たり基準価額(C/D)	70,968円

<注記事項>

- ①期首元本額 66,140,352,118円  
 期中追加設定元本額 7,930,073,171円  
 期中一部解約元本額 4,955,885,511円  
 また、1口当たり純資産額は、期末7.0968円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし)	43,039,404,899円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	13,774,313,012円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり)	9,278,972,601円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2020-11(限定追加型)	1,333,372,428円
ビルドアップ型 MSグローバル・プレミアム株式(為替ヘッジなし) 2023-02(限定追加型)	867,702,989円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	801,302,421円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	18,460,324円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン<隔月決算型>(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	1,011,104円
合計	69,114,539,778円

[お知らせ]

- ①新NISA(成長投資枠)の要件対応のため、デリバティブ取引にかかる投資制限について記載整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。  
 (2023年7月3日)
- ②委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
 2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
 (2023年10月1日)

○損益の状況 (2023年8月24日~2024年2月26日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,890,127,780
受取配当金	2,671,798,404
受取利息	218,432,314
その他収益金	34,187
支払利息	△ 137,125
(B) 有価証券売買損益	67,406,410,814
売買益	72,974,655,065
売買損	△ 5,568,244,251
(C) 保管費用等	△ 25,752,177
(D) 当期損益金(A+B+C)	70,270,786,417
(E) 前期繰越損益金	336,717,981,071
(F) 追加信託差損益金	41,543,461,493
(G) 解約差損益金	△ 27,153,150,956
(H) 計(D+E+F+G)	421,379,078,025
次期繰越損益金(H)	421,379,078,025

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。